国内外の抗菌性物質及び薬剤耐性菌に対する取り組み

	世界保健機関 (WHO)	国際連合食糧農業機関 (FAO)	国際獣疫事務局 (OIE)	動物用医薬品の承認審査の資料の調和に関する国際協力 (VICH)	EU	アメリカ合衆国	日本	カナダ	オーストラリア
1969					ｲｷﾞﾘｽ：スワン勧告 (耐性菌の観点から、家畜用の抗生物質の使用について勧告)				
1970～					ペニシリンなどの成長促進目的の利用を禁止		農：飼料安全法公布 (抗菌性物質を飼料添加物として規制を開始)		
1980～					ｽｳｪｰﾃﾞﾝ：成長促進目的の利用の全面禁止				
1990～	**ベルリン会合** ・成長促進目的の利用の制限の勧告 ・耐性菌のﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞの必要性の提唱 **ジュネーブ会合** ・慎重使用の考えからｷﾉﾛﾝ系の使用制限 **薬剤耐性ｻｰﾍﾞﾗﾝｽに関する非公式会議**	FAO/OIE専門家会合 ・リスク分析、慎重使用、耐性菌動向調査		1996年発足	ﾃﾞﾝﾏｰｸ、ﾄﾞｲﾂ等の各国：ｱﾎﾞﾊﾟﾙｼﾝの成長促進目的の利用禁止 ﾃﾞﾝﾏｰｸ：耐性菌のモニタリングを開始 バージニアマイシン、タイロシン、バシトラシン、スピラマイシンの利用の禁止	耐性菌調査の開始	農：アボパルシン及びオリエンチシンの利用の禁止 農：耐性菌調査の開始		JETACAR：「食糧生産動物における抗生物質の使用：動物とヒトにおける抗生物質耐性菌」(1999)
	Codex：「微生物学的リスク評価を行うための原則とガイドライン」(1999)								
2000～	抗菌剤の慎重使用に関する勧告		**薬剤耐性菌に関する特別ｸﾞﾙｰﾌﾟ会合** ・耐性菌関係の各種手法の調和と標準化	「食料生産動物用の新しい動物用医薬品の登録に当たって、承認前に必要な抗菌剤耐性に関連する情報のガイダンス」(2003)	欧州医薬品審査庁・動物用医薬品委員会：「抗菌性動物薬申請時の抗菌剤耐性問題に関連した資料として添付すべき試験の指針」	フルオロキノロン承認取り消しの提案	農林水産省農業資材審議会：「家畜等への抗菌性飼料添加物の使用が公衆衛生に及ぼす抗菌剤耐性リスクの評価法に関する指針」(2003)	抗菌性物質の動物への使用と耐性化及びヒトの健康への影響(2002)	EAGER：「ヒトにおける抗生物質使用に関する重要性のランク付けと概要」(2003)
	WHO/FAO動物飼料特別部会において検討を開始								
			「抗菌剤耐性に関する国際基準」(2003)		動物へのフルオロキノロンの使用によるヒトの健康に対するリスク評価 (2003)	FDA：「ヒトの健康に係る細菌への影響を考慮した新規抗菌性動物用医薬品の安全性評価指針 # 152」(2003)	農：耐性菌の観点から飼料添加物及び動物用医薬品の見直しを開始		
	ヒト以外への抗菌性物質の使用と抗菌性物質耐性に関するFAO/OIE/WHO合同専門家会合 (2003-2004)								
						動物へのストレプトグラミン使用に起因する腸球菌（*Enterococcus faecium*）におけるストレプトグラミン耐性に関するリスク評価 (素案) (2004)	食品安全委員会：「家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針」(2004)		バージニアマイシンを含む製品の登録と表示に関する再評価(2004)
	Codex：「抗菌性物質耐性の最小化と封じ込めのための実践規範」(2005)				成長促進の利用を全面禁止(2006)	家禽の細菌感染症治療を目的としたエンロフロキサシンの流通・使用を禁止 (2005)	食品安全委員会：「食品を介してヒトの健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク付けについて (案)」(2006)	食料生産動物での抗菌性物質の使用に関連した抗菌性物質耐性に対処するためのリスク管理措置に関する考え方(2005)	
	Codex：薬剤耐性菌に関する特別作業部会の設置について検討開始 (2005)				EU内における食料生産動物に対するフルオロキノロンの使用に関する意見書 (素案) (2006)				
	「医療において極めて重要な抗菌性物質」(2005)								